

都道府県高等学校野球連盟
会長、理事長、専務理事、代表理事 殿
加盟校野球部 責任教師 殿

公益財団法人 日本高等学校野球連盟

会 長 寶 馨

「ベースボール5」の大会参加について

今般、一般財団法人全日本野球協会から高校野球部員ならびに野球部指導者の「ベースボール5」(2026年のユースオリンピックから公式種目に追加される)の大会参加についての問い合わせがあり、当連盟で審議した結果、下記の通りとします。

また、高等学校体育連盟種目などの野球部団体以外の競技については、従来の考え方通り、大会参加は認めていますので、併せて、貴連盟加盟校への周知徹底をお願いいたします。

なお、軟式野球部・硬式野球部の取扱いについては、従来通り、大会参加者資格規程によるものとします。通信制、定時制、単位制、高等専門学校、特別支援学校、外国人学校、中等教育学校野球部の取扱いについては、従来通りとします。

※ <https://www.baseball5.jp> 「Baseball5 日本代表オフィシャルサイト」

※ 日本学生野球憲章 第15条(他の野球団体との関係)

「部員、指導者および学生野球団体の役員は、学生野球団体を構成員とする野球団体以外の野球団体の構成員となることができない。ただし、日本学生野球協会の承認を得た場合はこの限りではない。」

記

<ベースボール5>

1. 野球部員ならびに野球部指導者の個人参加は、認める。
2. 野球部としてのチーム参加(構成メンバーが全員、同校野球部員)は、認める。
3. 大会等に参加する場合は、当該都道府県高等学校野球連盟へ別紙大会参加届(大会開催要項を添えて)を提出ください。
4. 大会参加届が提出された場合、都道府県高等学校野球連盟は、当連盟へファックスまたはメール(PDF)にて報告をお願いします。

<野球団体以外>

1. 野球部員の大会参加は、認める。

以 上

年 月 日

高等学校野球連盟

会長 様

高等学校

校長 印

「ベースボール5」の大会参加届

今般、下記の本校野球部指導者ならびに野球部員から「ベースボール5」の大会参加届がありましたので、大会要項を添えお届けいたします。

記

1. 大会名
2. 主催者
3. 大会日時
4. 大会会場
5. チーム構成 個人参加()・チーム参加()
※チーム参加とは、構成メンバーが全員、同校野球部員の場合
6. 参加者氏名(野球部員)

氏名	学年	氏名	学年

7. 参加者氏名(野球部指導者)

氏名	責任教師	氏名	監督

8. その他・特記事項

(FAX または PDF で送信ください。郵送は不要です。)

年 月 日

日本高等学校野球連盟 御中

都道府県高等学校野球連盟

「ベースボール5」の大会参加届の受理報告

今般、当連盟加盟校から野球部指導者ならびに野球部員の「ベースボール5」の大会参加届の提出がありましたので、大会要項を添え報告いたします。

記

1. 学校名

2. 参加者人数

指導者 名

部 員 名

3. 所属連盟受理日 年 月 日

※日本高等学校野球連盟への報告は、当該校から提出された届の写しと大会要項を添付してください。

以上

「ベースボール 5」とは？

ベースボール 5(英: Baseball5)は、野球(ストリートベースボール)を原型として考案されたスポーツ。2018年に世界野球ソフトボール連盟(WBSC)によって考案された。WBSCからは、野球・ソフトボールに次ぐ第3の競技として認定されている。ゴムボールさえあればどこでもプレーできるのが特徴で、フィールドも野球・ソフトボールと比べてコンパクト化されている。男女混合でプレーすることが想定されルールが作られている。

ルール

イニング

5イニング制で行われ、同点の場合はタイブレーク方式の延長戦を行う。3回終了時点で15点差、4回終了時点で10点差がついた場合にはコールドゲームとなる。

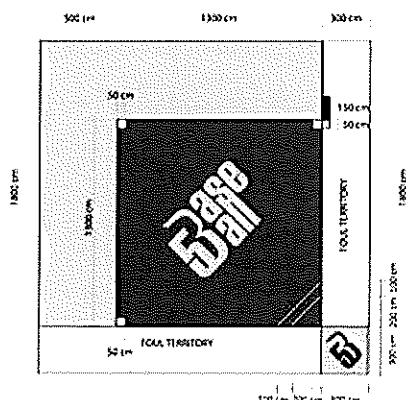
チーム編成

1チームは5-8人で編成される。試合は5人で行われる。また男女混合で行う大会の場合、守備時に男女各2名以上が入らなければならない。

選手交代先発メンバーに関してはリエントリーが認められる。

フィールド

内野の形は正方形であり、塁間は13メートルである。外野にはフェンスが置かれる(フェンスがない場合には、線を引くなどローカルルールが認められるケースもある)。フェアゾーンは18メートル×18メートルで、バッターボックスは本塁の後方である。一塁には衝突回避のため、ベースが2枚置かれる。



攻撃

打者は自分でトスしたボールを手のひらか拳で打つ。打球はフェアゾーン内の本塁より3メートル以上離れた地点で少なくとも1回はバウンドさせなければならない(フェンスオーバーやフェンス直撃もファウルアウト)。ファウル打球を打ってしまった場合アウトとなる。打球がフェアゾーンでバウンドするまでバッターボックス内に留まらなけれ

ばならず、また走者は打球がフェアゾーンでバウンドする前に塁を離れてはならない。離れてしまうとアウト。一塁到達時は、走者はベースもしくはその前方 1.5 メートル先までのセーフエリア内にとどまらなくてはならず、一步でもエリアから出た状態でタッチされた場合はアウトとなる。あとは野球と同様、打順間違い、走者の追い越しをすればアウト。1つの塁に2人走者がいる状態でタッチされた場合は後ろの走者がアウト。走者は可能な限り守備選手との衝突を避けなければならない、守備妨害と判断された場合はアウト。守備選手が触れる前の打球にも触れてはならない。二死満塁の場合は次の打者が3塁にいる状況があり得るが、その場合は3塁走者が次の打者に、2塁・1塁走者がそれぞれ3塁・2塁走者に、そしてその回で最初にアウトになった選手が1塁走者になる。得点が入った後二死満塁になった場合はこれが成立しない場合があるが、ルールブックにはその状況に関する記述がないためその際の対処は不明。

守備 グラブはなく素手で守る。守備位置は、一塁、二塁、三塁、遊撃手、ミッドフィールダーの5つ。フェアゾーン内であれば戦略に応じてシフトを変えるのは可能。後は野球と同様、ノーバウンドでの打球キャッチやフォースアウトや塁から離れた走者へのタッチで打者や走者をアウトにできる。

普及

今まで野球やソフトボールが盛んではなかった地域でも普及活動が行われ、69カ国で行われている。

日本国内ではアマチュア野球の国内統括団体である全日本野球協会がソフトボールの国内統括団体である日本ソフトボール協会と協力しながら普及が始められている。全日本野球協会は2019年にWBSCからインストラクターを招いてプロ・アマ野球関係者向けの講習会を開き、2020年3月には日本ソフトボール協会の協力を得て「Baseball5 JAPAN」を発足させ、事務局を全日本野球協会内に置いた。2021年12月には公式サイトを開設している。

国際大会

2018年には、欧州やカリブ地域で国際大会がすでに開かれている^{[6][7]}。2020年12月にはWBSC主催による第1回ワールドカップがメキシコで開催される予定^[8]だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催予定が2021年6月、さらに2022年へと変更となった。また、2022年8月にはマレーシアのクアラルンプールで第1回WBSC-ASIA Baseball5 アジアカップが開催され、日本からも初のBaseball5日本代表チームが派遣され、銀メダルを獲得した。

また、2026年に開催されるダカールユースオリンピックの開催競技への追加が決まっている。